

2019
Vol.22

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital



病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指します。

基本方針

- ◆ 広域医療圏拠点としての連携体制の構築
- ◆ 高度先進医療を支える医学研究の推進
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成
- ◆ 小児から高齢者まで包括する移行期医療の充実
- ◆ 国際化の推進

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

総看護師長着任挨拶	2
新任職員の紹介(医師・MSW)	3
トピックス	5
紹介元の医療機関のご紹介	6
外来診療案内等	8



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital



総看護師長 着任のご挨拶

九州大学病院別府病院
看護室 総看護師長

眞弓 恵美子

平成31年4月1日より九州大学病院別府病院の総看護師長に着任致しました眞弓恵美子（まゆみえみこ）と申します。着任当初、病院周囲や境川沿いの桜の美しさに感動し、それからも別府の町や自然に親しみながら鶴見岳の姿を見て通勤しています。

今までは九州大学病院の本院である福岡で、小児から高齢者までを対象とした超急性期医療・様々な先進医療・難病治療を受ける患者さんへの看護を実践し、チーム医療の中で看護師の役割が発揮できるように取り組んで参りました。病院での医療から患者さんの療養生活の視点を大事にして、院内多職種と地域とのそれぞれの専門性発揮への連携力の重要性を感じていました。

九州大学病院別府病院は、堀内病院長のリーダーシップのもと、「患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指す病院」として、伝統をもつ上で先進医療と地域に密着した医療の実現のため取り組んでいます。高齢化率が33%に近い地方都市型の二次医療圏である別府市の地域再生計画への参画、地域包括ケアシステムの構築に向けて等、今そして将来に向けて大学病院としての役割を果たしていかなければならないと考えています。私ども看護室の看護師は、当院に求められる医療と看護師の役割を認識し、豊かな人間性と大学病院にふさわしい知識と技術をもち適確に判断し質の高い看護実践ができるように取り組んでいます。専門職としての向上心と責任感をもつ中で、気づくことと解決に向けて相互作用を高めるコミュニケーションが大切であると思っています。誠実で心のこもった看護ケアを実践し、患者さんや周囲から信頼され、「笑顔で温かみのある看護師が揃っている」といわれるように総看護師長としての役割発揮に努力して参ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



内 科



日浦 惇貴 (ひうら じゅんき)

平成31年4月より九州大学病院別府病院内科へ赴任いたしました日浦惇貴です。佐賀県出身で、平成26年度に九州大学医学部卒業後、福岡東医療センター、県立宮崎病院、飯塚病院などでリウマチ・膠原病診療を中心に研鑽を積んでまいりました。これまでの経験を活かすとともに、研鑽を怠ることなく最新の知見や専門的な知識の深化に奮励いたします。当院では、免疫・血液・代謝内科として診療を行ってまいります。医師・看護師・薬剤師・療法士など一丸となってチーム医療に取り組み、患者さんの生活に即した医療を提供すべく努めたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。



祢宜田 絵美 (ねぎた えみ)

皆さまはじめまして。平成31年4月より九州大学病院別府病院に赴任してまいりました、祢宜田絵美と申します。出身は福岡で、熊本大学を卒業した後、昨年まで福岡県の九州医療センターで研修をしておりました。膠原病を中心に内科の診療を担当させていただきます。まだまだ未熟ですが、患者さんに寄り添う医療が行えるよう精進していきたいと思っています。何卒よろしくお願い致します。

外 科



内田 博喜 (うちだ ひろき)

平成31年4月より外科講師として赴任いたしました内田博喜と申します。平成10年に大分医科大学を卒業し、大分医科大学第一外科(現 大分大学消化器・小児外科)に入局し、入局後は大分県内の病院で診療に携わって参りました。専門領域は消化器外科、特に肝胆膵外科、内視鏡外科です。安全な手術を心がけて、患者さんが安心して外科治療を受けていただけるよう精進していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



松本 佳大 (まつもと よしひろ)

平成31年4月より外科助教として赴任しました松本佳大と申します。平成21年に九州大学医学部を卒業後、平成23年に九州大学大学院消化器・総合外科(第二外科)へ入局しました。出身は海と山に囲まれた熊本県葦北郡です。これまで、専門である肝胆膵領域を中心に臨床に携わってきました。「全力投球」がモットーです。患者さんのために日々の診療に全力を注ぎたいと思っています。研究でも、がんの研究を中心に貢献していきたいです。よろしくお願い致します。



藤井 昌志 (ふじい あつし)

平成31年4月より医員として赴任いたしました藤井昌志と申します。出身は大府堺市です。平成22年に九州大学医学部を卒業後、平成24年に九州大学臨床・腫瘍外科に入局いたしました。入局後は九州厚生年金病院、国東市民病院、山口赤十字病院、佐賀大学一般・消化器外科、北九州市立医療センターで消化器外科医として勤務してまいりました。平成29年度より当院外科に研究生として参り、現在膵がんの研究をしております。別府という恵まれた環境で4月からは臨床と研究の両面で貢献できるよう、精一杯精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



北川 彰洋 (きたがわ あきひろ)

平成31年4月より九州大学病院別府病院外科に病棟医として赴任しました北川彰洋と申します。出身はお米やお肉で有名な兵庫県の三田市です。平成23年に奈良県立医科大学を卒業後、大阪大学消化器外科に入局しました。川崎病院、大阪府立急性期・総合医療センター、大阪大学医学部付属病院で消化器外科分野を中心に学んできました。

平成29年4月からは外科の大学院生として肝細胞癌・肝内胆管癌がんの研究を行っております。山あり、海あり、温泉ありのこの素晴らしい環境を有する別府で今年度は研究のみならず臨床でも貢献できるように精進致します。よろしくお願い致します。

整形外科



小野 玄太郎 (おの げんたろう)

本年度より大山先生の後任として赴任しました小野玄太郎と申します。私事ではございますが、私は別府に生まれ、福岡で育ち、20年以上ぶりに帰って参りました。別府での幼少の頃の記憶は朧げながら、別府の街を歩いていると時折地名や建物に懐かしさを感じ、ここが故郷なんだと日々実感しております。

故郷別府の皆様、特に脊椎疾患をお持ちの患者様のため、当院整形外科・脊椎脊髄外科の一員として甚だ未熟者ではございますが精一杯頑張っていこうと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

放射線科



本村 有史 (もとむら ゆうし)

平成30年4月より放射線科に赴任しております本村有史と申します。本年度より体の外から放射線を照射してがんの治療を行う『放射線治療』の診療を主に担当しておりますので、改めてよろしくお願い致します。

平成23年に九州大学医学部医学科を卒業し、平成25年に九州大学放射線科に入局いたしました。病院に来られる患者さんのお役に少しでも立てるよう、尽力する所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



高尾 誠一郎 (たかお せいいちろう)

平成31年4月より放射線科医員として赴任いたしました高尾誠一郎と申します。平成24年に長崎大学を卒業後、平成26年に九州大学放射線科に入局いたしました。福岡市民病院、佐賀県医療センター好生館、中津市民病院、九州大学病院と各病院にて画像診断や放射線治療を学び、自分の専門分野である画像下医療に関し研鑽を積んでまいりました。病院に来られる患者さんの低侵襲治療、また研究を通じたがん医療の発展に関し、お役に立てればと思っております。何卒よろしくお願い致します。

麻酔科



永田 太郎 (ながた たろう)

平成31年4月より麻酔科に赴任いたしました永田太郎と申します。麻酔科医は手術中に患者さんのそばを離れずつきっきりで麻酔を行います。それと同時に全身管理も行い患者さんに無事手術を乗り越えていただくために働いています。実際に患者さんご本人とお話できる機会は少ないのですが、安全を第一に、ご本人に納得いただける医療を心がけておりますので、わからないことがあればなんでもお尋ねください。

医療ソーシャルワーカー



長岡 美里 (ながおか みさと)

皆様、こんにちは。令和元年5月から地域医療連携室に配属になりました長岡美里と申します。週末はスポーツジムに通っており、身体を動かすことが好きです。

今回、医療ソーシャルワーカーとして初めての職場となり、分からないことが多いと思いますが一日でも早く職場環境に慣れていきたいと思っております。

これから医療ソーシャルワーカーとして、ひとりでも多くの患者様に寄り添い、その人らしい生活を送るための支援を行っていきたくと思っております。

九州大学病院別府病院の一員として、皆様が安心して治療を受けていけるよう努力していきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

第1回九州大学病院別府病院 ICLSコース開催しました

平成31年3月2日(土)に当院で第1回目となるICLSコースを開催しました。

初めての開催ということで大分赤十字病院と別府消防本部にご協力いただき、半年以上の準備期間を経て開催致しました。今回は、院内から看護師・医師・理学療法士・作業療法士・臨床工学技士が受講し、実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけ修了証明書を受け取ることができました。

今後もこのような質の高い学会認定コースを継続的に開催することで、九州大学病院別府病院のチーム医療のレベルが益々向上していくものと考えています。



※日本救急医学会認定ICLS (Immediate Cardiac Life Support) コースとは、急変した(心停止した)患者さんを助けるためにチームで行う心肺蘇生(チーム医療)を身につけるための1日トレーニングコースです(日本救急医学会ホームページ参照)。

日本救急医学会URL <http://www.icls-web.com/>

桜のライトアップを行いました

九州大学病院別府病院では、毎年4月に病院敷地内に咲く桜のライトアップを行っています。今年も桜の見頃にあわせて3月28日(木)から4月11日(木)までの15日間ライトアップを行い、外来患者さんや病棟の入院患者さんはもちろん、地域の方々にも昼間の青空に映える

淡いピンクの桜と夜の闇にライトアップされた幻想的な夜桜、趣の異なる両方の桜を楽しんでいただくことが出来ました。



別府八湯温泉まつりで 温泉を無料開放しました

平成31年4月第1週の週末を中心に開催された別府八湯温泉まつり(べっふはっとうおんせんまつり)で、当院の宿泊施設 薫幸寮の温泉を無料開放しました。

開放したのは4月6日(土) 9:00~12:00の間で、訪れた方には日頃一般開放していない温泉に入浴していただくことができました。



「第8回東部医療圏地域医療 連携セミナー」を開催しました

令和元年5月13日(月)に第8回東部医療圏地域医療連携セミナーを当院 視聴覚ホールにて開催しました。

前半は当院病院長 内科 堀内教授の司会により、①「末梢動脈疾患に対する内科的治療と血管内治療(EVT)」(得能智武 診療講師)、②「高Ca血症を契機に診断された関節リウマチ患者の骨原発T細胞性リンパ腫の一例」(日浦惇貴 医員)、③「抗PD-1抗体ペムブロリズマブ使用中にACTH単独欠損症を発症した一例」(奥村祐太 助教)の一般講演を行いました。

続いて当院外科 三森教授による基調講演「がん遺伝子診断に関して」が行われ、後半は三森教授の司会により、①「肝胆膵外科領域の診療-若手外科医の立場から-」(松本佳大 助教)と、②「肝臓手術-低侵襲な治療を目指して-」(内田博喜 講師)の特別講演を行いました。





渡部内科循環器科クリニック



渡部純郎院長

末長いお付き合い

私は、別府市内の駅から5分ほどの地域で父の跡を継ぎ、平成6年より26年間開業しております。主に高血圧や糖尿病、高脂血症などの循環器疾患と生活習慣病の診療を行っています。当院では、心エコー、頸動脈エコー、24時間心電図などの検査を、初診で見えられた患者さんにもその日に対応できるよう、取り組んでおります。また、慢性腎臓病、糖尿病、認知症などのフォローを基幹病院と連携し、生活習慣病の患者さんの生活レベルに密着した、医療、および生活環境、また心理社会的配慮を含めフォローしています。別府市内および遠くは国東から通ってくださる患者さんのために、少しでも若いうちから生活習慣病への関心を持ってもらえるように、そしてかかりつけ医として、高齢者が少しでも長く自宅で生活できるよう、日々取り組んでいます。主に、脳血管障害、腰痛、膝痛などによる歩行困難からロコモへとなり、寝たきり、認知症へと発展することを防ぐため、手術の必要な患者さんなどの紹介をさせていただいています。また一方で、若い方々の生活に密着した視点から、禁煙外来に取り組み200名を超える禁煙成功者を出しています。

私より先に約30年間開業しておりました父は、開業して10年ほど経った、まだ九大別府病院が「温研」と呼ばれていた約40年前に、胃がんで余命6ヶ月と言わ

れました。その際、当時の辻教授に手術していただき奇跡的に命拾いをし、おかげさまでその後の35年間、平均寿命を超えるほどの人生を全うすることができました。

私が、医師会理事をしておりました折、基幹病院の連携室の医療連携の会に、事務長さんをはじめ担当の方々も積極的に参加していただき、他の基幹病院間との連携が取れるようになりました。また、堀内院長には、リウマチ班の医療連携を行った際、かかりつけ医との連携に、班長として積極的に取り組んでくださいましたことを、今でも感謝しております。

私が紹介させていただいた患者さんは、「別府病院ではスムーズに診療を受けられ、病状についての説明が丁寧で、スタッフの対応も親切で良かった」とおっしゃって、元気に私どものところへ戻って来られます。九大別府病院は2023年、新しく建て替えられると聞いております。最新の医療機械の導入がおこなわれ、ますますの発展を患者さんとともに、楽しみにしております。

これからも末長く九大別府病院のお力を借りながら、地域のかかりつけ医としての役割を担っていきたいと思っております。

◆DATA

住 所：別府市末広町6番31号

電 話：0977-23-5800

資 格：日本内科学会総合内科専門医、
日本循環器学会循環器専門医

診療科目：内科、循環器科

◆アクセスMAP





患者さん寄贈の絵



左から福永真理（女性外来医長）、田北薫子、甲斐裕一郎（副院長）、上尾裕昭（院長）、久保田陽子（外来医長）

大分市で5名の医師と48名のスタッフが力を合わせて乳癌診療に取り組んでいます。九大別府病院との関わりは深く、私には感謝していることが沢山あります。3つのポイントで紹介させていただきます。

(1) 放射線照射の依頼：

乳がん術後や再発治療の照射をお願いすることが度々あります。患者さんが大分市の照射施設への通院が難しい場合には「九大別府病院なら入院させてもらえます。放射線治療専門医が居るので残存乳腺への短期間照射も可能です。静かな環境で温泉もあってスタッフも親切ですよ。」と説明します。患者さんがご希望になれば、その場で放射線科医師に電話をして入院日を決めていただき、当院の外来に置いてある九大別府病院の入院者向けパンフレットをお渡しして、事前受診なしで入院をさせてもらっています（このシステムはご家族が一度別府に送って行くだけで済みますので、とても好評です。）

(2) リハビリの依頼：

乳がん治療を継続しながらリハビリが必要な別府市や県北在住の患者さんにとって、リハビリ部、乳腺専門医（増田隆明講師）、乳腺看護チームが揃う九大別府病院は頼りになる貴重な施設となっています。

九大別府病院を退院した患者さんは口を揃えて「スタッフの皆さんが本当に優しくて。良い病院を紹介してもらって、ありがとうございました。」と語ってくれて、私は嬉しい思いをさせていただいています。

(3) 外科教室との連携：

私は平成元年から5年間、外科の助教授として在籍したご縁から、臨床・研究の面での連携は現在まで途切れることなく続いています。

*当院の甲斐裕一郎副院長は8年前より九州大学研究生として定期的に研究棟に通い、三森外科教授のご指導のもと、研究を継続して学位の取得を目指しています。

*7年前には九州大学第2外科大学院生として上尾裕紀（私の長男）が2年間滞在し、三森教授のアイデアで当院の手術場で「乳がんの可視化（蛍光診断）」の実験を重ね、2編の英語論文を発表。親子の名前の入った記念の論文となりました。このプロジェクトは現在も続いており、近いうちに厚労省に申請手続きの予定です。

*当院では毎年300例以上の乳癌手術を行い、再発治療も行っていますので、臨床サンプルは豊富にあります。最近、増田講師は抗癌剤投与時の血中癌細胞の遺伝子発現の変化を当院の再発患者さんで解析し、そのデータを論文化して海外誌に投稿中です。

*このような連携の中で、私は2年前に臨床教授を拝命し、半年前に九大別府病院で講義の機会がありました。三森教授の司会のもと、各科の医師と看護部長をはじめとした多くのメディカルスタッフの皆さんが熱心に聴講してください、九大別府病院チームのパワーを感じました。

私の第二の母教室のある九大別府病院の益々のご発展をお祈りします。

◆DATA

住 所：大分県大分市羽屋188-2

電 話：097-514-0025

資 格：日本乳癌学会乳腺専門医、日本外科学会専門医・指導医
アメリカ外科学会フェロー（FACS）、マンモグラフィー読影認定医

診療科目：乳腺外科



九州大学病院別府病院 外来診療案内

(令和元年6月1日現在)

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ・膠原病	堀内孝彦 木本泰孝 日浦惇貴	堀内孝彦(再来) 村上哲晋(再来)	木本泰孝 祢宜田絵美 村上哲晋 / 日浦惇貴(隔週)	病棟回診日	堀内孝彦 木本泰孝 村上哲晋
	血液病		亀崎健次郎	亀崎健次郎		亀崎健次郎
	がん・腫瘍	奥村祐太	奥村祐太(再来)			奥村祐太
	慢性疼痛		前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹(再来)	
	骨粗鬆症		前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹(再来)	
	循環器病一般 心不全・肺高血圧外来 血管疾患外来 睡眠時無呼吸外来	樋口義洋 得能智武	樋口義洋 得能智武 午後 心血管カテーテル 検査・治療日	樋口義洋	樋口義洋 午後 心血管カテーテル 検査・治療日 (予備日)	得能智武
外科	一般 消化管 肛門	三森功士 内田博喜 大津甫	三森功士 手術日	三森功士 大津甫 松本佳大 鶴田祐介	三森功士 手術日	三森功士 内田博喜 松本佳大
	肝・胆・脾	内田博喜	手術日	松本佳大	手術日	内田博喜 松本佳大
	乳腺	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明
	整形外科 (脊椎・脊髄)	手術日	熊丸浩仁 飯田圭一郎 齋藤武恭 小野玄太郎	手術日	播谷勝三 飯田圭一郎 齋藤武恭 小野玄太郎	播谷勝三 熊丸浩仁 小野玄太郎
放射線科	放射線治療	本村有史	本村有史		本村有史	
	放射線画像診断	平川雅和	坂本勝美	平川雅和	平川雅和	平川雅和
共通	上部消化器内視鏡	内田 / 鶴田	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	内田 / 鶴田
	下部消化器内視鏡	内田 / 坂本	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	内田 / 坂本
	EMR / ESD	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美
	ERC P	——	——	——	——	——
	セカンドオピニオン	要 予 約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

初診受付時間 8:30～11:00 再来受付時間 8:30～12:00 (予約の方は除く) ・整形—完全予約制:地域医療連携室へ要Tel ・放射線治療—初診 8:30～11:00

※但し土日、祝日は休診(急患は除く) 代表電話:0977-27-1600、地域医療連携室:フリーダイヤル:0120-272-518、直通:0977-27-2055

地域医療
連携室より問合せ先
ご案内

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・検査依頼は、電話にて受け付けております。
- ・依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- ・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、待ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関する
お問い合わせ月～金 8:30～17:00 ☎0120-272-518(専用)
TEL:0977-27-2055(直通) FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.22



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原 4546 番地
代表 TEL 0977-27-1600
URL <http://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>